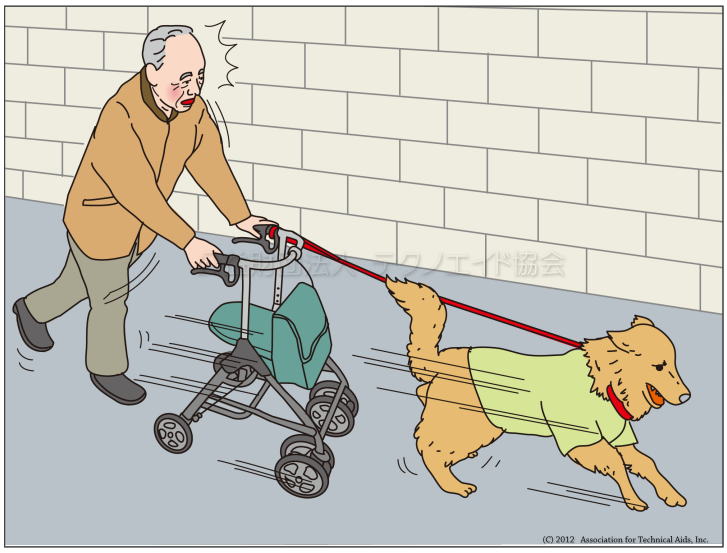
Case：235

散歩中、犬に引っ張られてバランスを崩し、転倒しそうになる

場面の説明

歩行車を使って犬の散歩に出かけたが、犬が突然走り出したため歩行車が先に進んでしまい、転倒しそうになった



利用シーン	移動 外出
主な利用場所	その他
介護保険の種目	歩行器
分類コード (CCTA95)	120606 (歩行車)
介護テクノロジー	ー
二次元バーコード	

解説

歩行にある程度の障害があっても散歩に出かけようとする意欲は大切ですが、それは安全であってこその意義であることは言うまでもありません。犬を連れての散歩が安全であるかどうかはその人の歩行機能によることなので一概には判断できませんが、危険を伴うようであれば無理をしないほうが賢明でしょう。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

人：無理をしてでも犬と散歩に行きたかった
人：利用者が犬を散歩に連れ出すとは思わなかった
人：リードを歩行車に巻き付けていた
環境：犬の力を判断し、危険を知らせてくれる人が周囲にいなかった

作成：公益財団法人テクノエイド協会
Copyright 2026 Association for Technical Aids, Inc. All Rights reserved.